

感染症情報 12月2日～8日

府下小児科196医療機関(堺市19)から

①感染性胃腸炎	1,012例(堺市 104例)
②溶連菌感染症	324例(堺市 40例)
③手足口病	227例(堺市 26例)
④RSウイルス感染症	162例(堺市 11例)
⑤咽頭結膜熱	104例(堺市 11例)

府下305医療機関(堺市29)から

インフルエンザ 3,066例(堺市 215例)

報告数による順位。前週比9.2%増の1,986件であった。感染性胃腸炎が府下で前週から20%増、堺市で前週89例→今回104例であった。溶連菌感染症が府下で4%増、堺市で前週35例→今回40例であった。手足口病が府下で34%減、堺市で前週41例→今回26例であった。RSウイルス感染症が府下で33%増、堺市で前回9例→今回11例であった。咽頭結膜熱が府下で51%増、堺市で前週5例→今回11例であった。

基幹定点だけが報告するマイコプラズマ肺炎は、大阪府で50例→52例で4%増。堺市で13例→13例であった。

インフルエンザが府下で前週1,503例→今回3,066例は104%増。堺市で前週104例→今回215例(107%増)。 定点当たり大阪府は10.05(注意報発令)、堺市は7.41であった。

府下305医療機関(堺市29)から

新型コロナウイルス感染症 416例(堺市 48例)
大阪府定点 1.36 堺市定点 1.66

大阪府の年齢層別の報告数											
0歳	1歳から4歳	5歳から9歳	10歳から19歳	20歳から29歳	30歳から39歳	40歳から49歳	50歳から59歳	60歳から69歳	70歳から79歳	80歳以上	合計
9	28	24	43	36	29	39	58	47	56	47	416

新型コロナウイルス感染症の定点報告は、大阪府で前回447例→今回416例で7%減、定点当たり1.46→1.36。堺市で前週72例→今回48例で33%減、定点当たり2.48→1.66になった(府下でワースト→ワースト4になった)。

麻疹が大阪府で1例あった。風疹の報告はなかった。